

## ～高齢者看護のスーパージェネラリストを目指すあなたへ～

札幌西円山病院では、2010年度より臨床における高齢者の様々な健康問題に対応できるよう、日本看護協会による認定看護師が中心となり、各々の専門的な知識および技術を活用した院内認定看護師・介護福祉士の育成に努めてきました。しかし、地域包括ケアシステムの構築が勧められる中、当院でも社会および地域のニーズに応じられる看護師の養成が必要と考え、『札幌西円山病院 キャリア支援システム For the future』が新たにスタート致しました。

そこで、認定看護師・専門看護師の資格を取得したスペシャリストによるさくらの会では、『For the future』が求める多様性を持つ「その人らしい生活」を支援できる看護師の養成の一助となれるよう、特化した分野だけではなく、多角的な視点で対応できるスーパージェネラリストの育成を目指したいと考え、老いを生きる高齢者その人に焦点をあて、老年看護の基本的な知識を幅広く持つ高齢者看護院内認定看護師養成プログラムを作成しました。

### 「いのち・くらし・尊厳を守り、支える看護がしたい」

そのような希望を持つ、当院の看護師の方々が “なりたい看護師” にステップアップできるよう、支援していきたいと考えています。



## 【高齢者看護院内認定看護師とは】

札幌西円山病院の認定・専門看護師が企画・運営した特定の認定領域（高齢者に特化する）において習得した知識・技術を実践に活かし、臨床における実践モデルとなり、札幌西円山病院の看護の質の向上に貢献するスーパージェネラリストを目指した看護師です。

当院では、仕事と生活とのバランスを保ちながら、将来の自分を描いていくキャリア形成過程を支援しています。認定・専門看護師の会さくらの会（以下 さくらの会に省略）では院内認定看護師に取得においても、ワークライフバランスを保ちながら「なりたい看護師」に向かって、ステップを踏めることを支援していきます。

### キャリアラダーの概念図からみた高齢者看護院内認定看護師の方向性



「なりたい看護師」を目指すには、経験年数は問いません。基礎教育を得た経験年数1年以上の看護師であれば、将来を見据えてレベルに応じたステップを踏めるよう、3段階ごとの認定取得を設けました。

## 【院内認定看護師制度の目的】

高齢者看護分野におけるスーパージェネラリストを育成し、看護実践を通して全体の質向上を図る。

## 【期待するべき役割】

1. 熟練した看護技術と専門的知識を用いて、看護実践の役割モデルを示す。
2. 他の看護スタッフに看護実践の指導的役割を担う。
3. 臨床の場において、常に教育・研究的視点で事例に取り組む。
4. 領域の自己研鑽に励み、常に臨床看護実践の質向上に努める。

## 【認定領域】

高齢者ケア全般にわたるスペシャリティとした「高齢者ケア院内認定看護師」

